

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴親海公園		
指定管理者	株式会社農業法人ふるる		
設置目的	海に親しむ憩いの場、海を基調とした自然との触れ合いの場及びレクリエーションの場を提供し、都市との交流を図ることにより地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	非公募	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日
所管課	産業振興部水産課、建設部土木課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	7年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	14,370	11,656			
指定管理料(円)	6,258,000	6,484,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
漁村活性化センターの利用人数	13,000人	13,000人	5,462人	42.0%
海釣り護岸の利用人数	10,000人	10,000人	6,194人	61.9%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	-	人件費	5,707,420
指定管理料	6,484,000	維持管理費	2,115,952
事業収入	8,896,745	事業費	10,796,955
その他	48,302	その他	0
合計	15,429,047	合計	18,620,327
差額			△3,191,280

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	海釣り護岸の利用人数は、年間目標に対して61.9%、漁村活性化センターは42%に留まった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	△	施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営ができていない。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	△	収支や集客面で課題は残るものの、地元食材の活用やイベント出店など、地域活性化へ一定の運営努力が見られた。一方で、設備の修繕遅延や繁忙期の駐車場管理等において一部課題が生じており、安全で快適な憩いの場を提供するという目的の達成に向け、さらなる改善が求められる。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	親水池および海釣り護岸を活用したイベントは実施できたが、文化行事が実施できなかった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	海釣客に声掛けを行い、ランチ利用・釣具販売を行うことができた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	アンケート結果等による料理、対応、接客に対して満足を得られた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	レストランではアンケートや利用者から直接聞き取るなど、意見の把握に努めている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	△	概ね適切に対応されている。ただし、公園部分での苦情等に関して、対応記録や再発防止策の報告に簡素なケースが見受けられたため、今後はより具体的かつ詳細な報告体制の構築が望まれる。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	人件費の削減や原価管理の徹底により、経費の節減が図れた。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	ふるるファームとの共同仕入れにより、原価率の低減に努めた。
収入増加のための取組が行われたか	△	収益増加には届かなかったが、イベント出店や企画など、売上向上に向けた工夫が見られた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	料理長とアルバイト2名の合計3人体制を基本としたが、人手が足りないこともあった。また、公園管理においても繁忙期に駐車場整理要員が不足し場内の混雑を招く事案があったため、時期や状況に応じた適切な人員配置の検討が必要である。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	料理長の細かい気配りが他の従業員への手本となっている。
施設の平等な利用が行われたか	○	特に問題なく利用されている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	予約客の名前、電話番号等の個人情報について、適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	該当する事案はなかった。
収支状況や会計処理が適切か	△	厳しい収支状況にあるが、原価管理の徹底や経費抑制など、赤字幅の縮小に向けた努力は継続している。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	救命用具(救助艇)の中間検査を実施した。
備品等の管理が適切に行われたか	○	備品等の管理は適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	×	定期点検等は適切に行っているが、防災訓練が実施できなかった。また、事案発生時の初期対応や報告体制、日常点検を通じた危険箇所の早期是正など、安全管理体制については見直しと強化が必要である。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	管理運営にあたっては法令を遵守し、適正に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上	除草や清掃、修繕など安全利用の維持には早急に対応頂いている。和食店への転換について、アンケートでは好評を得ているが、人手不足と業務過多により継続困難な状況にある。管理者から収支改善に向けた運営規模縮小の申し出があり、今後は人員を抑えたテイクアウト形式への変更など、公園や海釣客の利便性維持を最優先とした効率的な管理体制への再構築を検討いただきたい。	
経費削減	人員配置の工夫やコスト管理に努めているものの、赤字が増大している。現行の管理体制では収支の均衡を図ることが困難であるため、飲食業務の運営規模の縮小を含めた経費削減に務めて経営基盤の再構築に当たっていただきたい。	
施設の維持・管理	日常の清掃等は適切に実施していただいている。一方で、人員不足等に起因する設備の修繕遅延や繁忙期の駐車場混雑、事案発生時の事後報告など、管理運営面でいくつか課題が見受けられた。利用者が安全かつ快適に利用できるよう、継続的な点検と迅速な対応に努めるとともに、管理体制の見直しを図っていただきたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	1.87点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	- 赤字経営が続いており今後の管理運営に対して不安が大きい。 - 立地条件を経営不振の理由にしない。 - 複数事業者合同での指定管理も検討してみてもどうか。 - カメラの設置等、利用者数のカウントを正確にするべき。 - 評価「×」は即改善をしてほしい。 - 安全・安心な利用を確保するための管理が適切になされていない。 - レストラン事業ありきではなく、利用者の安全安心を中心にすえて管理されたい。 - SNS等での発信にも力を入れていただきたい。	

《参考》 過年度の評価点

6年度	年度	年度	年度	平均
2.50点				